

Architecting on AWS

グループディスカッション

グループディスカッションの目的

- ①これまで扱った AWS コアサービスの知識を深める
 - 「見る&聞く」よりも「行う&話す」の方が知識の定着率が良い
 - 積極的に参加しましょう（マイク必須、カメラ任意）
- ②Well-Architected Frameworkの設計方針を体験する
 - “なぜ”そのアーキテクチャを選択する / しないのか考える
 - 6つの柱：セキュリティ / 信頼性 / コスト / 性能 / 運用 / 持続可能性

✕ ~~正解を出すこと~~ ○ 議論して考えること

サンプルシナリオ： 既存アプリケーションのフォークリフト

現状の確認

- **GoGreen 社**
 - 「**EC サイト**」をエンドユーザーに提供している
 - ウェブアプリケーション
- **エンドユーザーが使える主要な機能**
 - 商品情報の閲覧
 - 商品名、商品説明、在庫数、商品画像など
 - 商品の購入
 - クレジットカード情報の取扱など、決済手段の詳細は割愛する
 - など

移行の背景と要件

• 移行背景

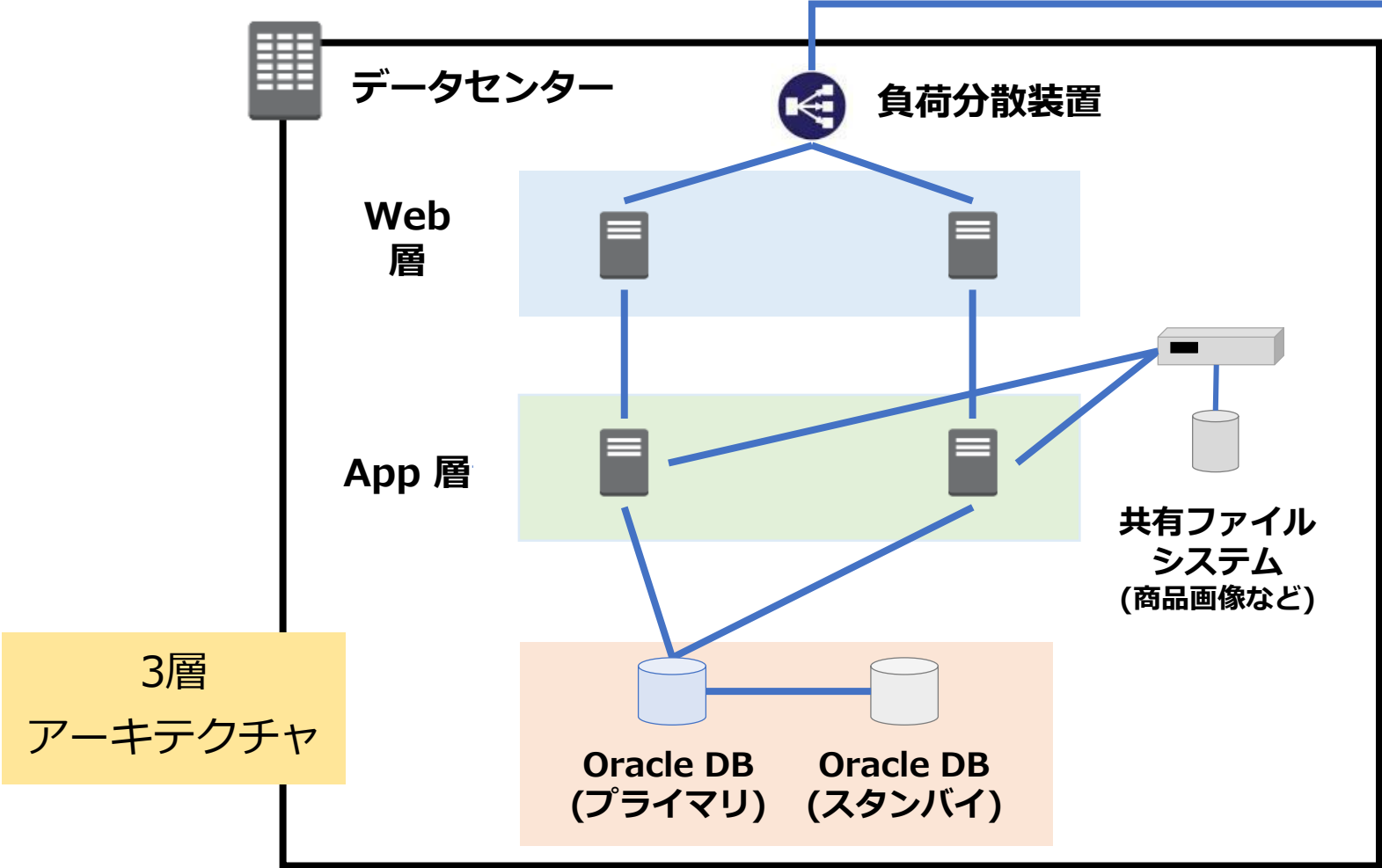
- オンプレミス環境で構築した通販サイトを運営している
- 契約中のデータセンターが**6ヶ月後**に期限切れになってしまう
- 契約を更新せずにクラウドに移行することを決定した



• 移行要件

- 任意のリージョンを 1 つ選択する
 - エンドユーザーは日本に集中している（主に商品の購入）
- 可用性の高いアーキテクチャとしたい
- など

現在のアーキテクチャ



※ 記載がない部分は自由に仮定して OK

ディスカッションのポイント

- **運用の優秀性**

- 監視はどのように行いますか？
- 自動化できる操作はありませんか？

- **セキュリティ**

- 通信はどのように制御しますか？
- データはどのように暗号化しますか？

- **信頼性**

- 障害について意識できていますか？
- 需要の変化にどのように対応するか？

- **パフォーマンス効率**

- リソースの性能はどのように決めますか？

- **コスト最適化**

- コストを抑えるために何ができますか？



AWS Well-Architected

を参考に！

参考：一般的な設計原則

Stop guessing your capacity needs

キャパシティの予測をやめる

Test systems at production scale

本番環境と同じ規模でテストする

Automate to make architectural experimentation easier

自動化によりアーキテクチャのテストを容易にする

Allow for evolutionary architectures

アーキテクチャを進化させる

Drive architectures using data

データに基づいてアーキテクチャを駆動する

Improve through game days

ゲームデーを利用して改善する

ディスカッションのヒント

- **Region, AZ, VPC, サブネットの配置をすぐに決める**
 - 大枠が決まると、中身に何を置くかのディスカッションが進みやすいです
- **アイコンのサイズや名前、見た目を整えようとしな**
 - アイコン使わず、名前だけでもOK!
 - 細かい部分はプレゼンで口頭補足でOK!
- **トレードオフを意識する**
 - RDB vs. NoSQL?
 - ブロックストレージ vs. ファイルストレージ vs. オブジェクトストレージ?
 - アーキテクチャ刷新 vs. 移行期間重視
 - 今回の要件と学んだことを照らし合わせて、サービス選択の理由を明確化 (**正解はない**)

ワークの進め方

個人ワーク（5分）

課題を解釈し、アーキテクチャ設計を考える

チームワーク（40分）

①自己紹介：お名前＋誕生日

②役割を決める

ファシリテータ：立候補 or 次の誕生日が一番近い方

⇒グループのディスカッションが円滑になるようサポートする

発表者：立候補 or 次の誕生日が一番遠い方

⇒他チームへ構成のポイントを説明する。発表者以外の方もフォローをお願いします。

作図・書記：全員

⇒構成図の作図。ディスカッションのポイントをメモ欄に記載する。

③ディスカッション

相互フィードバック（15分）

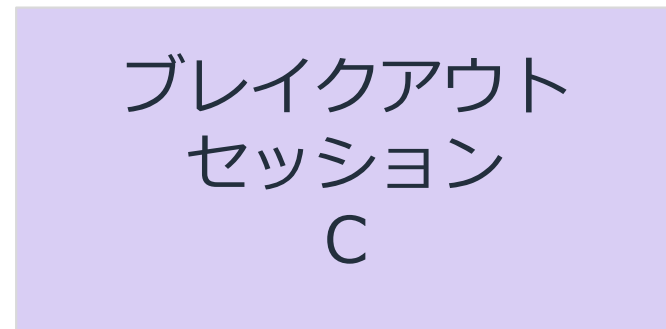
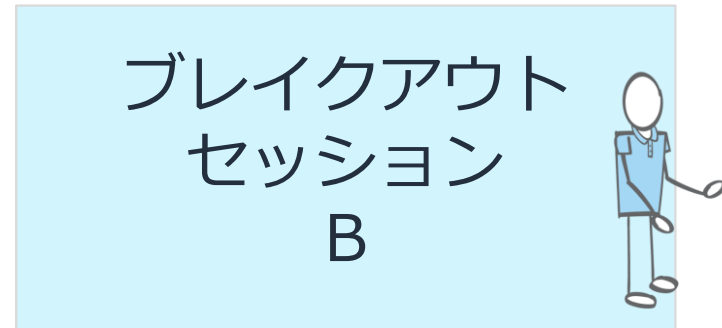
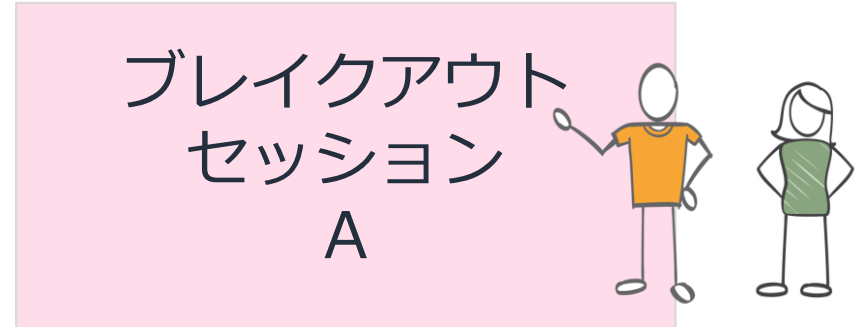
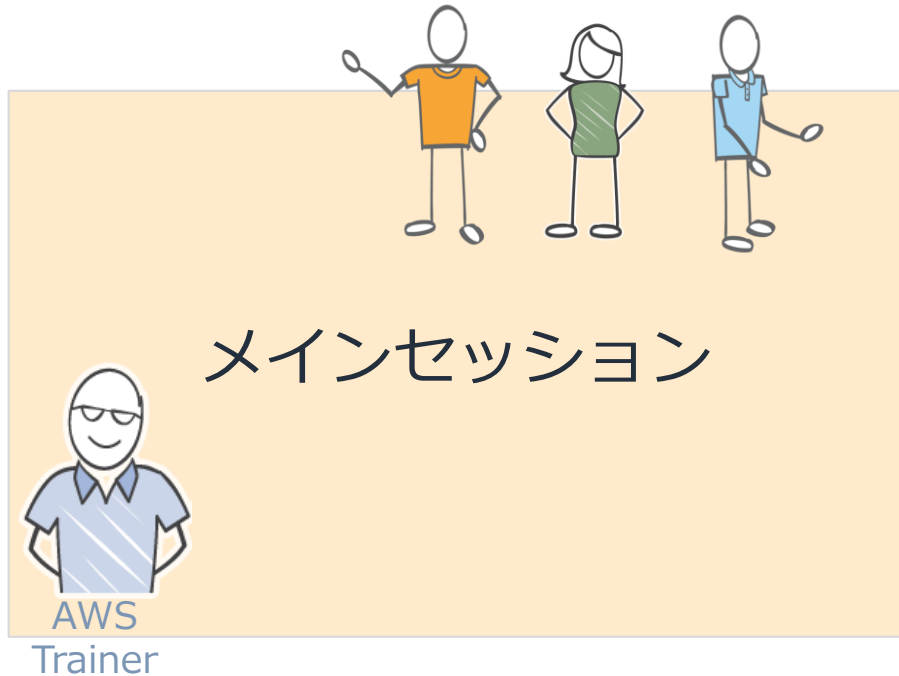
自チームで作成した構成図について、発表をお願いします。

ほかの受講者は、質問や感想をお願いします。

ツールの使い方

Webex ブレイクアウトセッションの概要

ブレイクアウトセッションに移動して、
ディスカッション



終わったら戻れます

Webex ブレイクアウトセッションに参加

投影のみ

メインセッション

参加者 (3)

ブレイクアウトセッションは開始されています。いずれのセッションにも参加できます。

[すべてのブレイクアウトセッションを表示](#)

検索

- AWS_Suzuki3 (自分)
- AWS_Suzuki (主催者)
- AWS_Suzuki2

参加者

“参加者”
を表示

ブレイクアウトセッション

ブレイクアウトセッションは開始されています。参加するセッションを選択します。

- ブレイクアウトセッション 1 (0)
- ブレイクアウトセッション 2 (0)
- ブレイクアウトセッション 3 (0)
- ブレイクアウトセッション 4 (0)

参加

参加するセッションを選択

退出すると
メインセッションへ戻る

ブレイクアウトセッション

レイアウト

参加者 (2)

あなたはブレイクアウトセッション 1 のセッションに接続されています。

セッション時間: 07:58

[他のブレイクアウトセッションを表示](#) サポートを...

検索

- AWS_Suzuki2 (自分)
- AWS_Suzuki3

参加者

グループのメンバー
のみ参加

Webex ブレイクアウトセッションで対話

投影のみ

The screenshot shows a Webex Breakout Session window. The title bar includes "Webex", "ミーティング情報", "ブレイクアウトセッション1", and "メンバーを非表示にする". The menu bar contains "ファイル(F)", "編集(E)", "共有(S)", "表示(V)", "音声とビデオ(A)", "参加者(P)", "ミーティング(M)", "ブレイクアウトセッション(B)", and "ヘルプ(H)". The main area displays two video thumbnails: a grey one labeled "AWS_Suzuki3" and a green one. The right sidebar shows "参加者 (2)" with a list of participants: "AWS_Suzuki2" (自分) and "AWS_Suzuki3". Below the participants is a search bar and a "チャット" section. The bottom toolbar contains icons for "ミュート", "ビデオの停止", "共有", and other controls. Three pink annotations with arrows point to the "ミュート" button, the "ビデオの停止" button, and the "チャット" section.

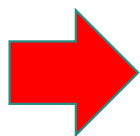
“ミュート解除”で
音声会話出来ます

ビデオを有効にして、
お互いに顔を見なが
ら話すことを推奨

グループ内だけのチャット

Webex 画面共有する

投影のみ



コンテンツを共有

あなたが共有を開始すると、Tetsuo Nobe のコンテンツ共有が終了します。

キャンセル

共有

